

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○児童が通いたくなる、通いがいがあり、地域や保護者から信頼される学校		児童の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査を元に、苦手な教科や単元を重点課題として、補充学習などにおいて取り組んでいく。 ・指導工夫改善教員や専科教員などを活用し、指導法をさらに工夫することで、児童の学力の向上をめざす。 ・学習規律をさらに徹底していく。
○基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども		心の教育、生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実や、児童会の取組により、児童の心を育てていく。 ・携帯電話(スマホ)のルールを教師で確認し、保護者へ発信する。 ・地域行事への参加を促し、地域との結びつきをさらに高めていく。 ・いじめの早期発見、早期解決に努める。
○児童、同僚、地域や保護者を大切にする教員		教師の指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を充実し、授業力、生徒指導力を向上させる。 ・学校行事や、勤務時間以外の働き方を見直し、「働き方改革」に取り組む。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力を育成する(児童の学力アップ)	児童の「学習意欲の向上」を実感する教師60%以上	・授業中、学習に取り組む姿勢から、意欲の向上が見られた児童が多かった。しかし、指導者によって態度を変えたり、離席したりする児童もいた。	
	3～6年生の学力調査、昨年度に比べ、3%向上(市との差)	・学力調査において、福岡市の平均との差を昨年と比べると、6年生は若干マイナスであったが、3～5年生は伸びていた。児童の学力の向上を実感する教師は、94%。	
	「家庭学習の手引き」を有効活用する児童、70%以上	・家庭学習の取組を発信した(1学期)際は、ほぼ100%が「学習の手引き」を活用していた。しかし、年度後半は50%とダウンした。	
	0		
心の育成と生徒指導を充実させる	学級崩壊「0」	・担任の体調不良により、補助する教員を配置することはあったが、授業が成り立たないような学級はなかった。	
	心の教育に関する研修会を年に2回以上実施	・教職員を対象に、「心の教育」をテーマとした研修を定期的に行ったり、「ふわふわ言葉」や児童会主体の「いじめゼロ」の取組などを行ったりした。	
	いじめ等の早期発見、早期解決に取り組む、いじめによる不登校児童0人	・いじめの早期発見のため、アンケートの実施や教師間の見取りの情報共有を行った。児童間のトラブルに対しては、丁寧な対応を心がけ、不登校を減らすことができた。	
	0		
教師の指導力を向上させる	研修による、指導力の向上を実感する教師60%以上	・国語、算数を中心に講師を招聘し研修を行った。指導力の向上を実感する教師は、100%であった。	
	事案発生、解決後、「事案研修会」を100%実施	・いじめや児童同士の喧嘩等、全教職員で共有し再発防止に努めることができた。	
	事案に丁寧に対応し、次の週に持ち込む事案「0」	・市教委や、中学校、警察、区役所、SSWやSCなど関係機関と連携し、問題解決に努めることができた。	
	働き方改革を実感する教師60%以上	・働き方改革を実感した教職員は100%であった。しかし、内容は薄いため、より実践を深めていきたい。	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業開始の「黙想」も日常化してきて、おちついて学習する児童が増えてきたようです。「学力の向上」に繋がってほしいです。 ○ 挨拶が上手な児童が多いです。友達とのけんかやいじわるなど、問題も起きますが、仲直りも上手くできています。 ○ 外で元気に遊ぶ子が多く、長期間学校を休む児童がいないと聞いて安心しています。 ○ 学校の「学力向上を目指した取り組み」や「落ち着いた校風づくり」、「教師の指導力の向上」などを評価します。 ○ 飯原は、とても学校に協力的な地域です。これからも地域の力を生かして、子どもたちがまっすぐに育ってほしいです。 ○ 全国的に「教員の働き過ぎ」が報じられています。先生方が過重労働にならないようしっかり「改革」して行ってください。 			